

○事業所名	児童デイすぎと いちばん星		
○保護者評価実施期間	2025年1月6日		2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設外活動(公園遊び、散歩、買い物体験、公共施設利用、等)	雨天時や行事、やむおえないような状況以外では、ほぼ毎日必ず公園に行き外遊びを行なっている。ご家庭からのご意見にも「普段なかなか公園に連れて行ったり、お店に連れて行ったりが難しい」「家だと体を動かす機会が少ない」といった内容が多く見受けられた。そのご要望に添いながら、当施設では児童の体作りや人間関係の向上も目指し、日々の活動で公園に行き体を動かして遊べるよう取り組みを行なっている。また、雨天時はお店での買い物体験を行ない、活動を通してお金の勉強や好きなもの選択など出来るよう取り組んでいる。	児童の下课時間や安全面、公園内の固定遊具の種類などから、利用する公園が同じところに偏りやすくなってしまっている。学校の長期休みの際には、放課後の時間帯では行けない遠い場所にある公園などに行くことは出来ているが、日々の公園遊びにも偏り過ぎない配慮をして活動の充実に努めている。また、集団遊びの中でもルールのある遊びや子ども同士のやり取りに主軸を置き、職員が介入し過ぎないようにしながら、人との関わり方を学べる機会を増やす等の配慮を行なっていく。
2	コミュニケーションの向上	利用児童一人一人のコミュニケーション能力に合わせて、絵カード・写真カード、マカトンサイン、ジェスチャー等の様々な視覚支援を活用し、全職員が共通・統一された支援を行なっていく取り組みをしている。言葉の表出が難しい児童でも快・不快、はい・いいえ、好き・嫌い等の選択や意思表出などが行ないやすい支援・環境作りを意識しながら重点的に取り組んでいる。同様に、音声言語での発語を目指し、まずは自分の名前から発声・発語の支援に取り組んでいる。	視覚支援の充実や拡充に努めているものの、PECSなどは一人一人の児童に導入しきれていない。また、スマートフォンやタブレット端末などのアプリを活用してのコミュニケーションにも着手・挑戦が行なえていない。時代と児童に合わせて、最新の技術の活用や、児童に合った・応じた取り組みの強化をしていきたい。同様に、児童に対する職員のコミュニケーションが質の高い統一性のあるものに保てるようにしていく努力や工夫にも力を入れて取り組んでいきたい。
3	行事・イベントや同事業所間での児童の交流	季節ごとの行事やイベントを楽しめるような活動の取り組みをしている。おやつを行事にまつわる行事食の提供にする、行事に関連した紙芝居の朗読やクイズなどで行事について知る、工作活動で行事に関連するものを作成する等、児童が行事を楽しみながら体験と共に学べる場を提供している。また、夏場のプールやクリスマス会などは同法人内で別の事業所となる施設と合同で取り組み、児童の交流を行なっている。	行事やイベントによって内容が簡易的になってしまうこともある為、じっくりと予定を練り、時間を捻出して、季節を感じながら行事に対する意識を大切にしていこう努めたい。行事食に関して、職員が作り提供するだけではなく、児童と共に作るなどの取り組みを増やしていく。施設間の交流イベントも現在より回数を増やし、児発と放デイという違いや先輩後輩という立場を生かして、より質の高い学びある関わりや交流を行なえるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内活動の充実	幅広い年齢層の児童、通常級・支援級・特別支援学校の別々の学校の児童が一同に来所する中で、それぞれの障がい特性や得手・不得手などから、集団での室内活動内容が限られがちになってしまっている。タブレットやパソコン、プロジェクターを使つてのシアター上映や、卓球・風船&ビーチボールを使つたパレー遊びなど、体を動かしたり学びながら楽しく過ごせる場の提供も出来てはいるが、集団での運動遊び・サーキットや音楽(リズム)遊び、個別課題、SSTなどへの取り組みが少なくなってしまふ。	外出による施設外活動が当事業所の強みではあるものの、雨天時や学校が長期休業の時の室内活動に関しても力を入れていきたい。現在でも児童が個々に室内での活動を楽しめているのは良い点の一つではあるが、集団で一つのことに取り組んだり、みんなで何かを考え・出し合い・理解や絆を深めていけるような活動への取り組みも強化していく。遊びだけでなく、工作やおやつ作りなどの活動も頻度を増やして、室内活動の内容充実を図っていく。
2	学習支援	通常級や支援級の児童の宿題や学習面への支援はあまり行なえていないのが現状である。放課後からの利用では下课時間と、基本的な当事業所のメイン活動の観点より学習支援が難しい場面が多い。一方で、ご家庭からは学習支援を求める一定のニーズもある。	毎日の学習支援は難しいが、ご家庭から学習支援要望がある児童に関しては、状況に応じて臨機応変に対応をしていく。雨天時や下课時間の早い日など、取り組みが可能な日は宿題等を進める学習支援を行なっていく。また、夏休みや冬休みなど宿題が多く出る学校の長期休業時にはなるべく学習支援に取り組む。
3	地域交流	現在、近隣の高校からのボランティア受け入れ等の活動に取り組んでいる。クリスマス会などの大きなイベント行事の際に、施設近隣に住んでいる方を招待し参加してもらうことはあるものの、地域との交流をもつ機会を作ることの難しさも実感している。地域の公共施設の利用や、公園で出会う近隣の住民や児童との交流を重ねながら施設の認知度を高めて、ゆくゆくは地域に貢献できる事業所を目指す。	ボランティアの受け入れや、大きなイベント行事開催の際に近隣住民への告知や参加は継続していきながら、よりその頻度を高め質の高い交流を目指し、地域に根差した施設の在り方を模索していく。受け身だけでなく、施設側も地域のイベントや行事に参加したりと交流の幅を広げる努力を行なう。日々利用している公園の清掃活動に取り組むなど、地元から長く愛される施設としてより良い地域交流に努める。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 7 年 2 月 10 日

アンケート期間：令和 7 年1月6日～令和7年2月7日

事業所名：児童デイすぎと いちばん星

保護者等数(児童数) 14 名 回収数 12名 割合 85%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	4			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12			先生たちが優しく、資料をくれる。	ご意見ありがとうございます。より専門性を高め一人一人にあった療育が提供できるよう努力いたします。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	7		室内の様子がわからない	ご意見ありがとうございます。保護者会の開催した日に見ていただければ幸いです。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	12				
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	9	3		季節のイベントでお菓子やプレゼントを楽しみにしている。	ご意見ありがとうございます。日々の活動内容が固定気味になっており大変申し訳ありません。季節のイベントは今後もしっかりと考えております。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	8	1	難しいと思うが、交流があると嬉しい。障害について知ってもらいたい。希望していない。	ご意見ありがとうございます。公園での活動中に他校の小学生や中学生と関わる機会がございます。ただ放課後児童クラブや児童館との交流は今年度はありませんでした。
保護者 への 説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	1		いつも考えていただき感謝している。	ご意見ありがとうございます。支援内容がより伝わるよう、連絡帳の内容も改善していきたいです。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	11	1		一緒に考え、一緒に成長を喜んでくれてとてもうれしい。こんな遊びが好きなど連絡帳で教えてくれている。	ご意見ありがとうございます。送迎時の短い時間であったり、連絡帳でのやり取りの中で、コミュニケーションが取れるよう改善してまいります。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	3		利用時に先生からプログラム内容を教えてもらえる。	ご意見ありがとうございます。利用予定表と一緒に配布しているご家庭アンケートにて個別の支援のお手伝いをさせていただいております。ご記入の内容は児童発達支援管理責任者が回答させていただきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	5	5	保護者にアンケート等をして頂きまとめたものを配布してほしい。必要ない。あるなら嬉しい。	ご意見ありがとうございます。来年度の5月中旬ごろに開催できるよう現在調整しております。年度初めにお知らせの文書を配布させていただきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1		すぐ対応できる力があるのがすごい。報・連・相ができており対応できていると思う。	ご意見ありがとうございます。支援者として子どもたちと関わらせていただいております。発言や行動がよりよい療育につながるよう努力してまいります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12			ラインができるようになり伝えやすくなった。Instagramで子どもたちの様子を乗せてもらえる嬉しい。	ご意見ありがとうございます。SNSを通じて連絡手段の向上ができ、大変うれしく思います。SNSへの写真の掲載につきましては個人情報の観点から控えております。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1		写真がカラーなので見やすくかわいい	ご意見ありがとうございます。現在はすぎと通信を5月、9月、1月の3通作成しております。より内容が伝わるよう改善してまいります。
非常 時 等 の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	12				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	4			
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	5			
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	12			行きたいか聞くと行きたいと答えている。	ご意見ありがとうございます。運動遊びを通じて子どもたち同士の信頼関係も構築できた年度だと思います。デイの仲間として楽しみができるよう活動内容の幅も増やしていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	12			大変満足している。感謝している。お誕生日カードがとてもかわいらしくてうれしい。	ご意見ありがとうございます。デイでの活動がより分かりやすく、支援内容が見えるよう改善を続けてまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日: 令和 7 年 2 月 7 日

公表: 令和 7 年 2 月 10 日

事業所名: 児童デイすぎと いちばん星

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3	1	急な休みで職員不足になることがある	職員不足にならないよう新年度に人事移動を行っていく。また事業拡大のためにも新規職員の採用をしていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		1		公開日を提示したり、HPだけでなく張り出すことで職員に認知してもらえるようにします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	1		
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	3		固定化された活動を必要とする児童もいるため、考慮したうえで活動内容を考えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6				

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日: 令和 7 年 2 月 7 日

公表: 令和 7 年 2 月 10 日

事業所名: 児童デイズと いちばん星

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5		現在利用者の中に医療的ケア児はいない	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6				
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6				
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	1		
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	1		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1			
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	1		
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1			
保護者への説明責任等	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	2		来年度の5月もしくは6月に開催予定です。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				
	35 個人情報に十分注意しているか	6				
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6				
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6				
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6				
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	1	医師の指示書はないが、父母を通じて該当の食物アレルギーは除く対応をしている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか					